特定非営利活動法人○○○○　臨時理事会議事録

　１　日　　時：○○年○月○日　○○時～○○時

　２　場　　所：ウェルパルくまもと３階　会議室

　３　理事総数：○人

４　出席者数：○人（うち書面表決者：○人）

　５　審議事項

　　第１号議案　土地売買契約に関する件

　　第２号議案　特別代理人選任請求に関する件

第３号議案　議事録署名人の選任に関する件

　６　議事の経過の概要及び議決の結果

　　　定款第○○条の規定により、理事長 **熊本 太郎** 氏が、議長に選任された。

(１)　議案審議

第１号議案　土地売買契約に関する件

　　　　　　議案審議に先立ち、議長は、「本号議案に係る契約行為及びそれに関連する次号議案に関して、私は利害関係人に該当するため、定款第○○条第○項の規定により、審議に加わることができない。ついては、本号議案及び次号議案については仮議長を選任し議事を委任したい」旨発言し、他理事の承認を受け、会議室から退室した。

　　　　　　他理事全員で協議したところ、理事 阿蘇次郎 氏を仮議長に推したいとの意見があり、阿蘇 次郎 氏を除く全員で審議した結果、一同異議なく承認した。また、阿蘇 次郎 氏も仮議長の就任を承諾した。

仮議長は、当法人の事業所拡張にあたり、その拡張予定地が理事長 個人の所有地であるため、理事長 熊本 太郎 氏を売主、本法人を買主とする土地売買契約を締結したい旨を提案した。仮議長はこれを一同に諮ったところ、全会一致で承認した。

第２号議案　特別代理人選任請求に関する件

仮議長は、「前号議案に係る契約行為は、利益相反行為に該当するので、当該契約締結に関して、理事長 熊本 太郎 氏は、本法人の代表権を有しない。ついては、特定非営利活動促進法第１７条の４の規定により、特別代理人の選任を所轄庁（熊本市長）に請求する必要がある」旨述べた。

これを受け、理事全員で協議した結果、全会一致をもって次の者を特別代理人候補者に選任した。

　氏名　肥後　次郎

　住所　熊本市○○区○○丁目○○番○号

また、肥後 次郎 氏もこれを承諾した。

仮議長は、この候補者をもって所轄庁に特別代理人選任の請求をすることを一同に諮ったところ、全会一致でこれを承認した。

仮議長は、本議案審議をもってその職を解かれ、熊本 太郎 氏が議長として復帰した。

第３号議案　議事録署名人の選任に関する件

　　　　　　議事録署名人について、議長から本日出席の **阿蘇 次郎** 氏と **菊池 三郎**氏の２名を指名したところ、満場異議なく承認された。

(２)　議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。

　　以上、この議事録が正確であることを証します。

　　　○○年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　議　　　　長　**熊本　太郎**　　　（印）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　議事録署名人　**阿蘇　次郎**　　　（印）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同　　　　**菊池　三郎**　　　（印）